

『風は南から』

令和5年度 校長室便り
(9月6日)(第11号)



「何事も自分が主人公」

9月1日(金)の始業式で、論語に出てくるエピソードを1つ紹介しました。孔子の弟子に冉求(ぜんきゆう)という人がいて、ある時冉求は、孔子に向かって、次のように言いました。「先生の説く道は悦ばないわけではありませんが、私の力が足りません。」

それに対して、孔子が冉求に言いました。「力足らざる者は、中道にして廢す。今汝は画れり。」孔子は、「力が足りない者は、道半ばにして力尽きる。しかし、今お前はやる前から、自らの力量に限界を作ってしまった」と言っています。

「1日は24時間」という時間も含めて、チャンスは誰にも平等に与えられています。そのチャンスを自分が当事者だと思って受け止め、チャレンジするかどうかは、自分次第ということだと思います。2学期に行われるさまざまな教育活動に、自分の可能性にふたをすることなく、「自分が主人公」だと思って主体的に取り組み、皆さんが人としてさらに成長できることを期待しています。

8月25日 大学短大出前講座

実力考査2日目の午後から、大学の先生方をお招きして、「大学短大出前講座」を実施しました。1学期に「進路ガイダンス」を行いましたので、進路に関する出前授業は今回で2回目になります。

今回は、鹿児島県と沖縄県の大学・短大から、8名の先生方に来ていただき、2名はオンラインで参加していただきました。皆さんには、10講座の中から自分の希望で受講してもらいました。

今回も直接話を聞くことで、より大学の雰囲気かわかり、進路について考えるきっかけになったのではないのでしょうか。実力考査が終わったばかりでしたが、どの講座も熱心に聞いているようでした。最後に、先生方からメッセージをいただきました。



・故郷を大事に思い続けてください。素晴らしい環境で育った皆さんは、きっと素晴らしい人生が待っています。自信と希望を大切に。

・若い時は、自分でも気が付かない可能性を秘めています。まず高い目標を持ってください。目標が見つからない人は、とりあえず毎日の勉強を頑張りましょう。きっと何かの役に立ちます。

・静かに熱心に話を聞いてくれてありがとう。沖縄、琉球大学にも遊びに来てくださいね。光化学の実験も可能です。今後の皆さんの活躍を期待しています。

・皆さんの沖永良部での経験は、将来の社会での力になると思います。

「神の島のこどもたち」(著)中脇 初枝

8月はどうしても戦争ついて考えさせられます。8月6日、9日、15日。今年は戦後78周年で、奄美群島の日本復帰70周年になります。8月15日の終戦記念日には、鹿児島県も含めて、多くの場所で4年ぶりに慰霊祭が開催されました。



英語科の中村先生の紹介で、夏休みに「神の島のこどもたち」(著)中脇初枝(講談社文庫)を読みました。舞台は戦時中の沖永良部島で、物語は沖縄戦から終戦までを力強く生き抜いた沖永良部島の子どもたち、マチジョーとカミの二人の視点で描かれています。後半は、沖高の生徒たちが日本復帰運動の原動力となって活躍した様子も詳細に書かれています。

筆者の中脇初枝さんは、沖永良部島を丁寧取材されて、沖高に残されている当時の「学校日誌」も実際に読まれて、その内容を小説の中に反映しています。当時の若者が何を考え、生活していたのかがよく分かる作品になっています。

今年、同窓会のご尽力で、日本復帰70周年記念に合わせて、当時の職員が作詞・作曲した「復帰の歌」の歌碑を校内に建立することが既に決定しています。そして、本校にて12月19日に設置記念式典と記念フォーラムが開催される予定です。

司書の勝間先生によると、本校の図書館にもこの本は数冊置いてあるそうです。まだ読んだことのない人は、ぜひ読んで当時の沖高生に思いを馳せてください。同じ歴史を繰り返さないためにも、今の私たちは歴史から学ぶことが必要だと思います。

川上天歌さん「文化庁長官賞受賞」



8月1日から鹿児島市のサンエールかごしまで開かれた「全国高校総合文化祭の弁論の部」には、38都道府県から74人が出場しました。その中で、3日に登壇した川上天歌さんは、外国出身の母と自身の歩みを語り、差別のない社会を力強く訴えて、全体で2位の「文化庁長官賞」に選ばれました。本当に素晴らしいことです。おめでとうございます。

「生徒会発足」宜しくお願いします!

役職	氏名	クラス
生徒会長	今井 ひなた	2-1
副会長	花 輪 昭	1-1
	勝 男 凌 久	1-1
書記長	通 村 祐 人	2-2
会計長	林 思 悠 斗	1-2
週番長	田 中 勇 平	1-1
体育部長	川 村 明 愛	2-1
文化部長	名 越 優 空	2-3

9月1日の任命式の後、今井会長は「前は先輩の後についていくのが精一杯でしたが、今回は積極的に行動して、皆さんが生き生きと生活できる学校にします。公約も守ります」と挨拶しました。